



# 東白川小だより

令和5年3月16日(木) №13

校長 桂川 辰也

## 卒業式を控えて

先週の集会で子どもたちにいくつか質問をしました。

- ① 「卒業式は行わなければならないと法律で決まっていると思う人立ってください。」  
答えは「NO」です。法律には、「校長は、小学校の全課程を修了したと認められた者には卒業証書を授与しなければならない」とはありますが、「卒業式を行わなければならない」とは書かれていません。**半分以上の子が当たっていました。**
- ② 「なぜ保護者や地域の方、教育委員会の方を招いてわざわざ卒業式を行うのですか？」  
**「今まで支えてくださった皆さんに、成長した姿を見せ感謝の気持ちを伝えるためです。」**
- ③ 「卒業式には入退場・起立・礼・着席・返事・証書授与・国歌、校歌斉唱などの活動がありますが、どのような姿を見せるべきですか？」  
**「大きな声で歌い返事をする、恥ずかしがらず胸を張って歩く、きびきびと活動する。」**
- ④ 5年生～1年生までの人が卒業式に参加するのは何故ですか？  
**「卒業生の姿を見て自分たちが目指すものを確認するためです。」**  
**「お世話になった卒業生をみんなで送り出し感謝の気持ちを示すためです。」**

これからの生活につながる最高の締めくくりが出来そうです！ 期待してください！



6年生送る会「卒業じゃんけん」



「お別れのアーチ」



6年生「卒業奉仕作業」

「今の若者は…」

昔、親や上司・年配の方からよく言われました。誉められる意味で言われたこともありましたが、どちらかというと、もっとしっかりしなさいという意味で言われることが多かったと思います。あれから何十年、気が付いたら私自身が同じことを口にしていました。多分、小学生たちも三十年後、四十年後、同じことを言っているのだろうと思います。

保護者や地域の皆様はどうでしょうか？職場の若者や我が子を見ながら、「今の若者は…」と不満を感じたことはありませんか？反対に、特定分野での優れた力に驚いたこともあるかと思いますが、いずれにしても、彼らを育てたのは、彼らよりも上の世代のはずです。不満な部分があれば、それを全て彼らの責任にしては酷かもしれませんね。

さて、今年度もいよいよ残すところ僅かとなりました。保護者や地域の皆様には、ご心配をお掛けすることもあったかと思いますが、学校の教育活動について、ご理解ご協力を賜りありがとうございました。